



Euroclearの外国籍ファンドにおける取組み 【FundSettle】

ファンド事務処理の問題解決に向けて

SWIFT Funds Masterclass
2008年12月17日



目次

Euroclearの外国籍ファンドにおける取組み【FundSettle】

自動化の必要性・Euroclearの役割

FundSettleサービス内容

機能及び利点

ヘッジファンド

通信手段

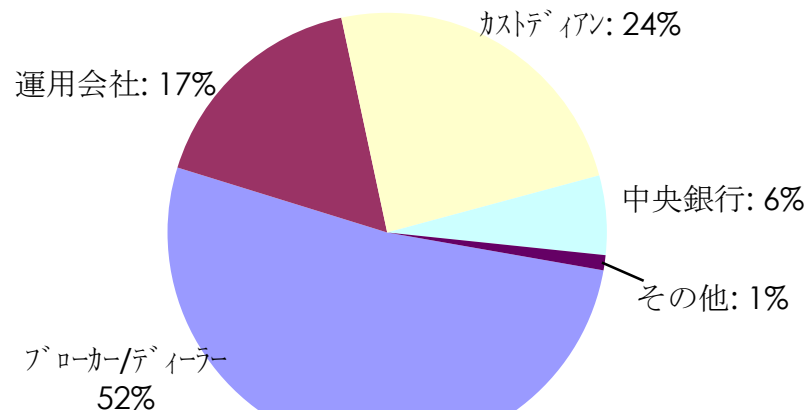
ファンド・プロモーターとのパートナーシップ

Euroclear Bankとは

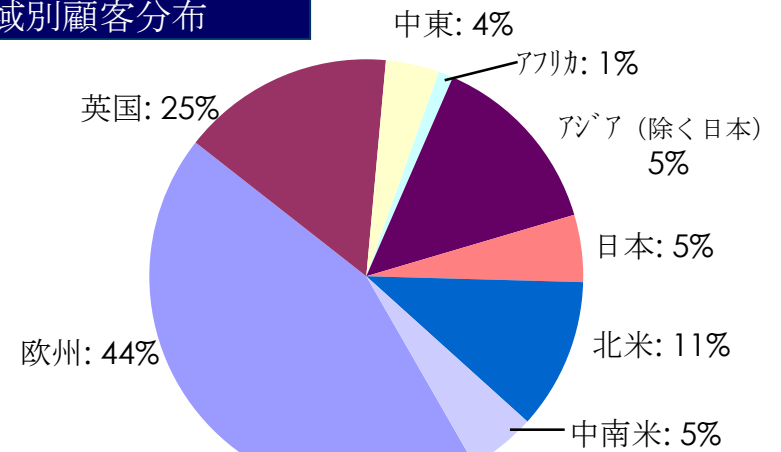
07年12月現在（注記ない限り）

- 1968年に設立された決済に特化した国際証券決済機構
- 安定した財務体質：AA+（S&P／Fitch）
- 210超の市場参加者が所有し、市場参加者の意見を反映する形で運営
- 取扱い可能市場（08/10現在）
債券：39ヶ国、株式：29ヶ国、決済通貨：51通貨
- 世界主要金融機関1,535社が参加
- 取扱い銘柄数：548,000超（債券・株式・ファンド）
- グループ内に、欧州7ヶ国の国内決済機構あり
- 英国・アイルランド・フランス・ベルギー・オランダ・スウェーデン・フィンランド
- 国際証券決済機構として、唯一21年間継続して東京にて日本の顧客をサポート

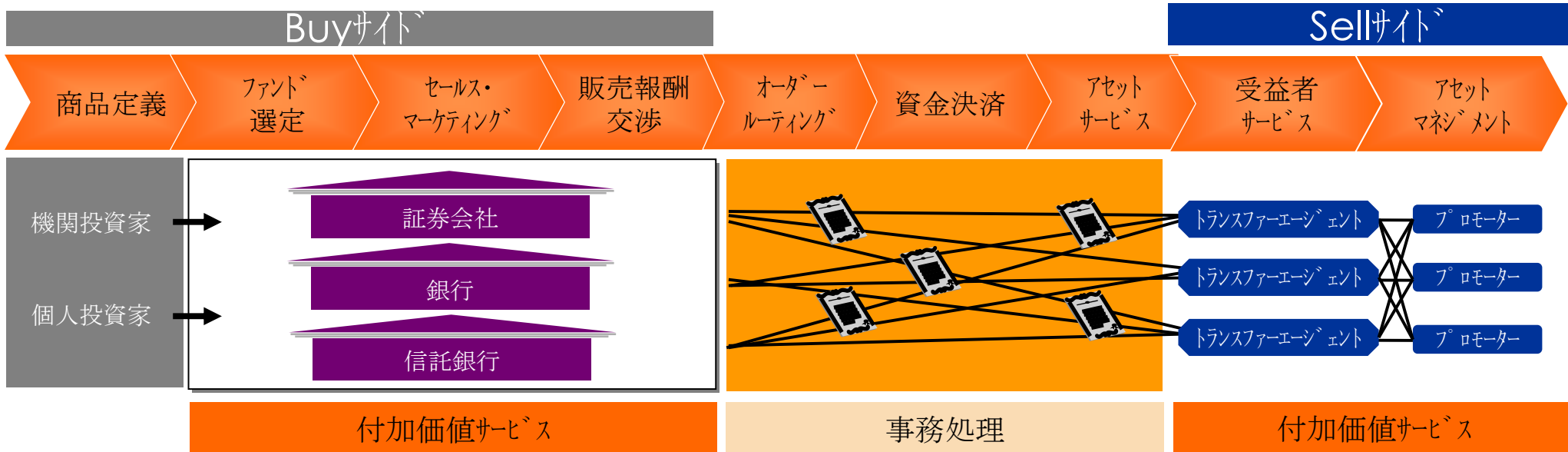
属性別顧客分布



地域別顧客分布



外国籍投信における一般的事務フロー



- 複数の相手先



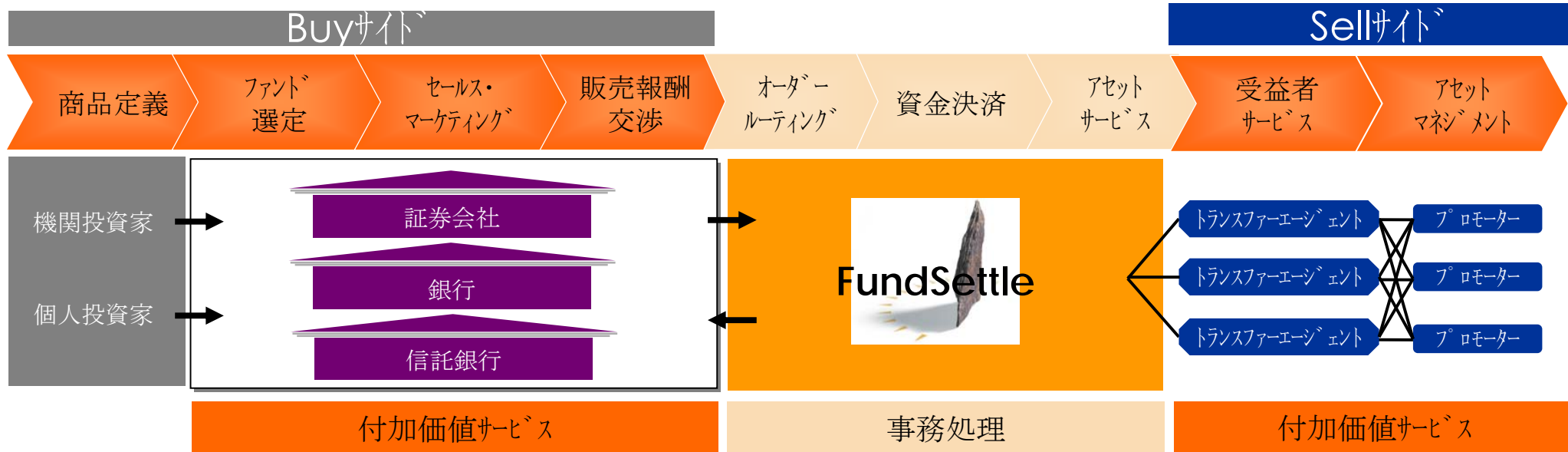
- 複数リンクの存在
- 異なる事務手続き・サービスレベル

- マニュアル事務処理



- バックオフィスにおける高コスト・高リスク
- 規模拡大の限界
- 付加価値サービス提供への限界

FundSettle™の役割



FundSettle

- 事務処理に限定されたサービス (約定処理・決済・コスト代)
- 自動化及びコスト引き下げに焦点
- オープン且つ中立なマーケットインフラ

- 複数相手先へ単一リンクで接続
- 単一の事務手続き・サービスレベル
- 自動処理に基づくより低いコスト・リスク
- 規模の追求が可能
- 付加価値サービス提供にフォーカス

FundSettle

自動化の必要性・Euroclearの役割

FundSettleサービス内容

機能及び利点

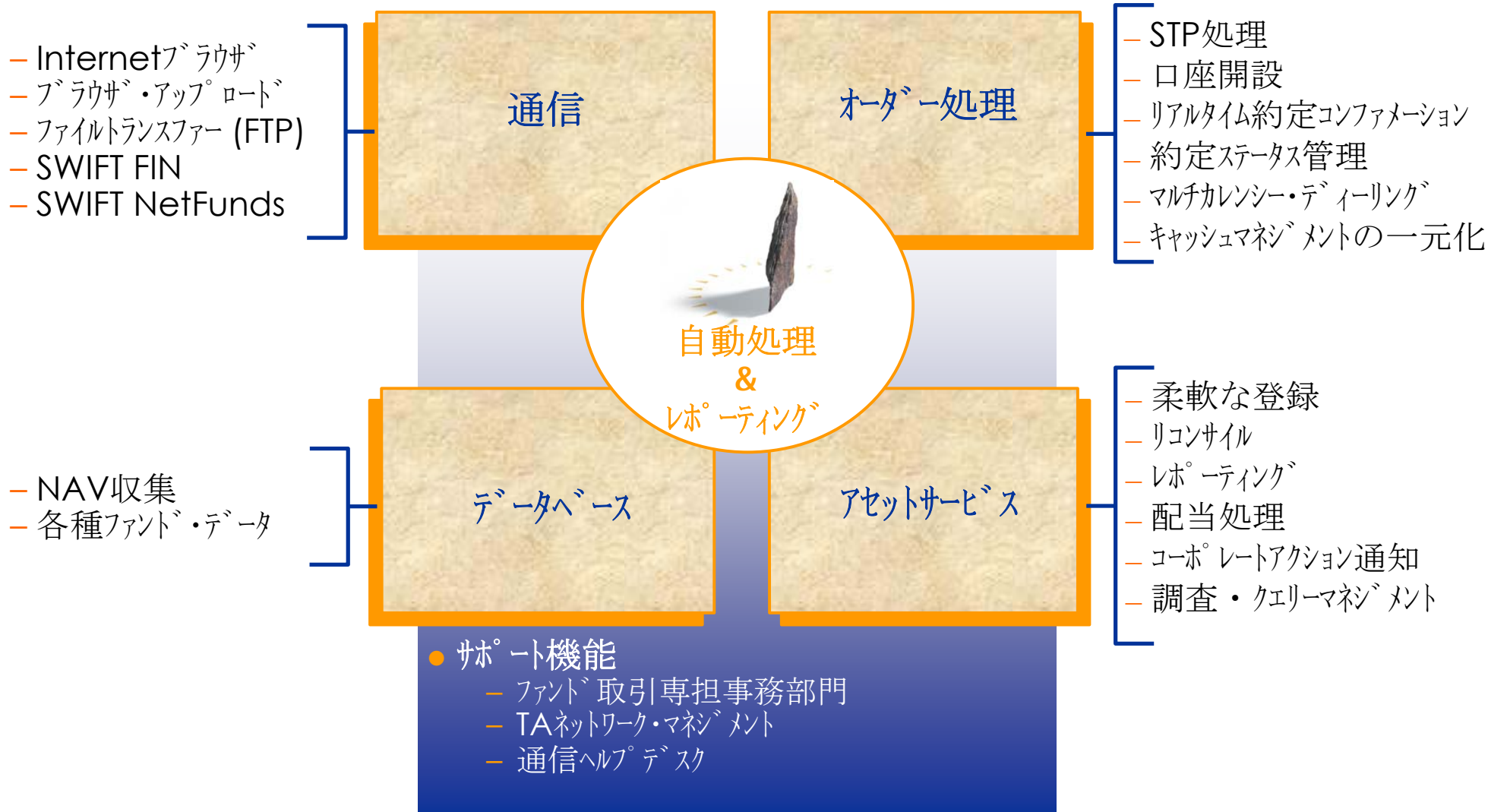
ヘッジファンド

通信手段

ファンド・プロモーターとのパートナーシップ

主要機能

オーダー処理及びユニット管理の自動処理



カバレッジ

設定地・運用会社

37,000を超えるファンドへのアクセス

設定地：

- | | | |
|------------------|----------|----------|
| 1. ルクセンブルグ | X-border | |
| 2. アイルランド | | |
| 3. オーストリア | Domestic | |
| 4. ベルギー | | |
| 5. フランス | | |
| 6. ドイツ | | |
| 7. イタリア | | |
| 8. スウェーデン | | |
| 9. スイス/リヒテンシュタイン | | |
| 10. イギリス | | |
| 11. ノルウェー | | |
| 12. ガーンジー島 | | Offshore |
| 13. ジャージー島 | | |
| 14. マン島 | | |
| 15. バハマ諸島 | | |
| 16. バミューダ | | |
| 17. ヴァージン諸島 | | |
| 18. ケイマン諸島 | | |
| 19. ラブアン | | |
| 20. モーリシャス | | |
| 21. オランダ領アンティル | | |

- AXA
- BlackRock
- BNP Paribas
- Credit Agricole
- Credit Suisse AM
- Deutsche Bank AM
- Fidelity
- Fortis
- Franklin Templeton
- INVESCO
- JPMorgan AM
- Julius Baer
- Morgan Stanley
- Nordea
- Pictet
- Pioneer
- Robeco
- Schroders
- Societe Generale
- UBS AM

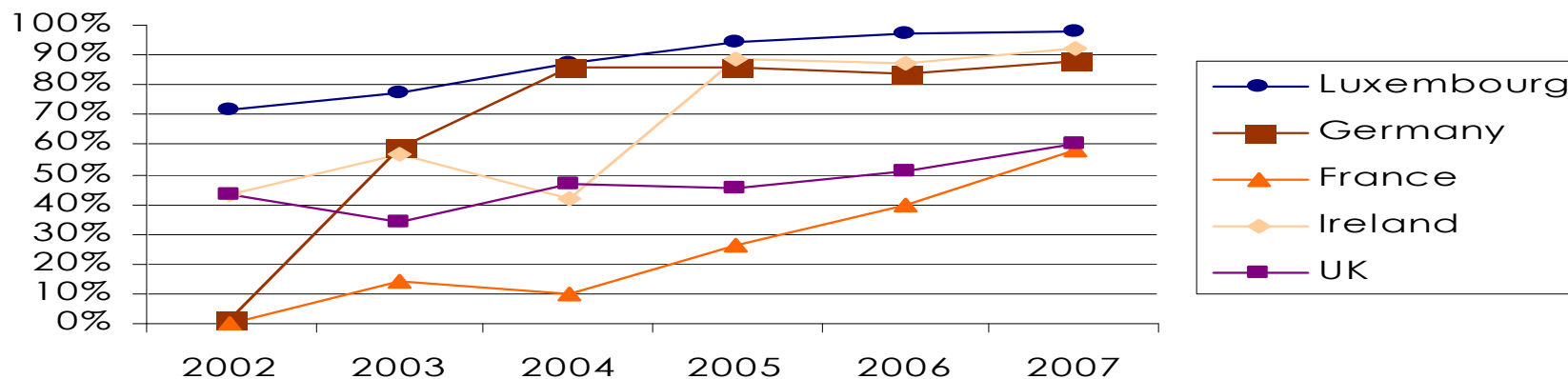
... and more

カバレッジ

トランスファー・エージェント (08年9月現在)

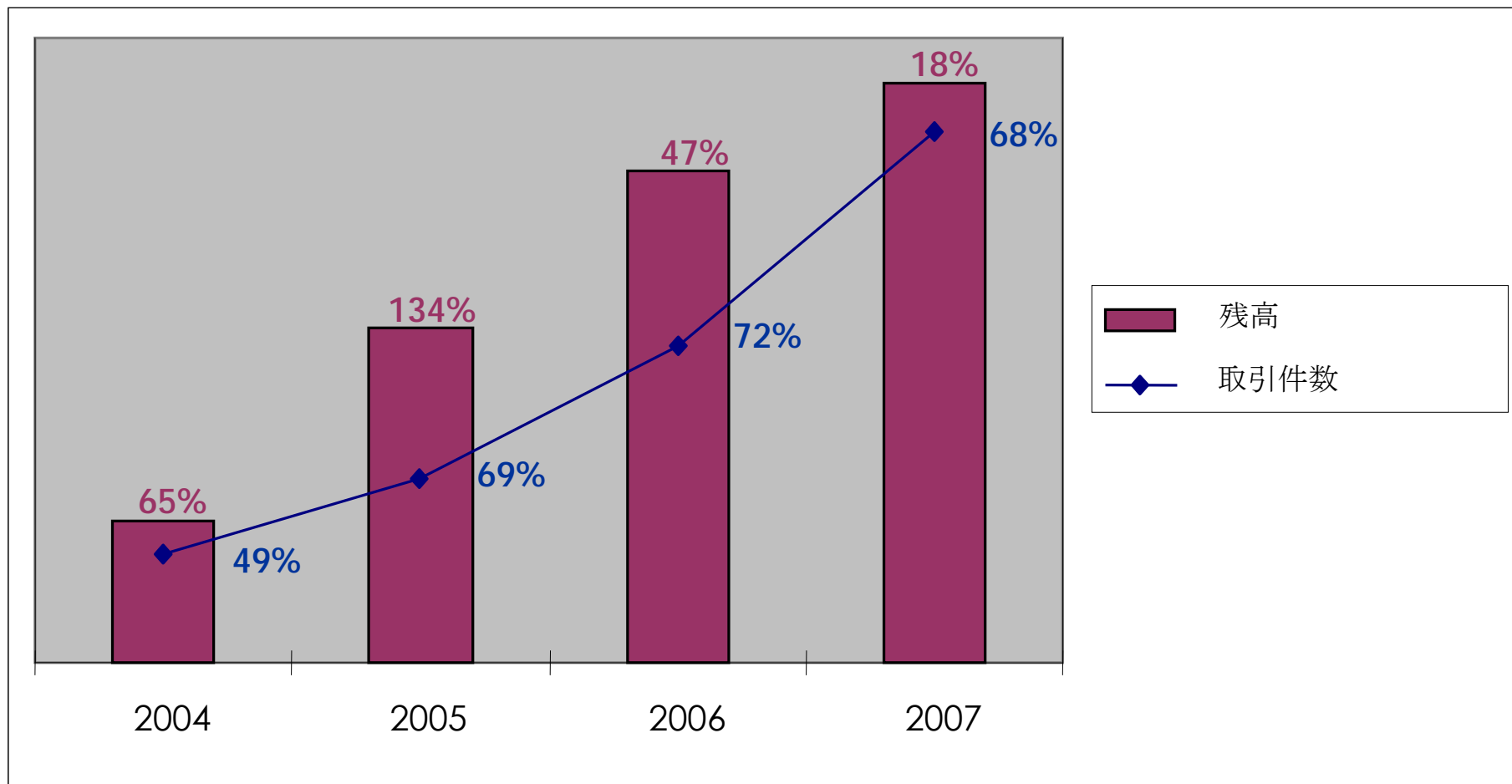
- 510のTransfer Agentと取引あり (700超の管理会社に相当)
- 約定処理に係るSTP率 : 90%
- リコンサイルに係るSTP率 : 80%

	残高%	オーダー%	オーダーSTP率	リコンサイルSTP率
クロスオーダー籍	66%	83%	97%	96%
EU国内籍	14%	11%	58%	55%
ハッジファンド	11%	3%	31%	33%

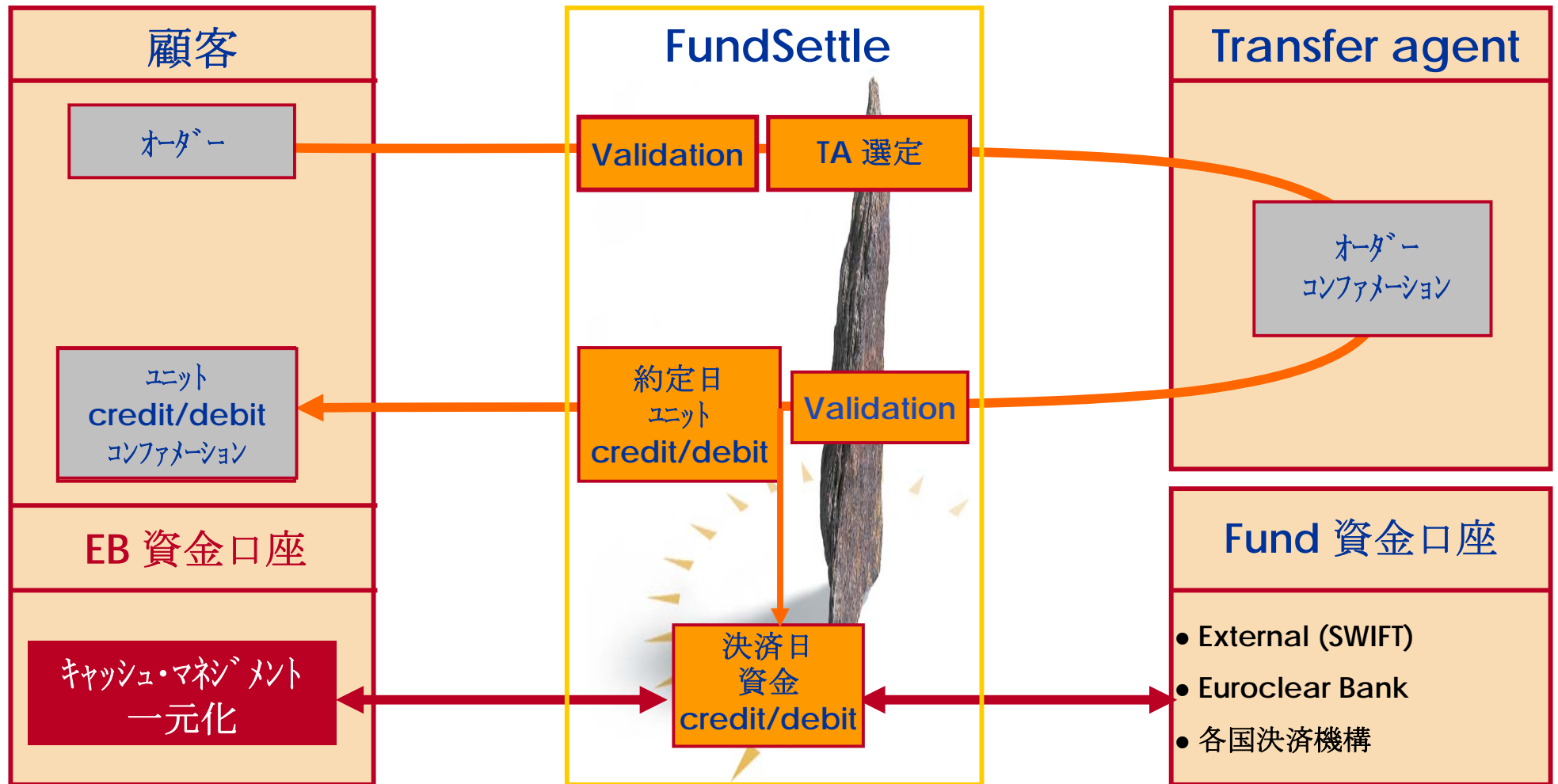


マーケット・プラットフォームとしての成長

取扱い残高・取引件数推移

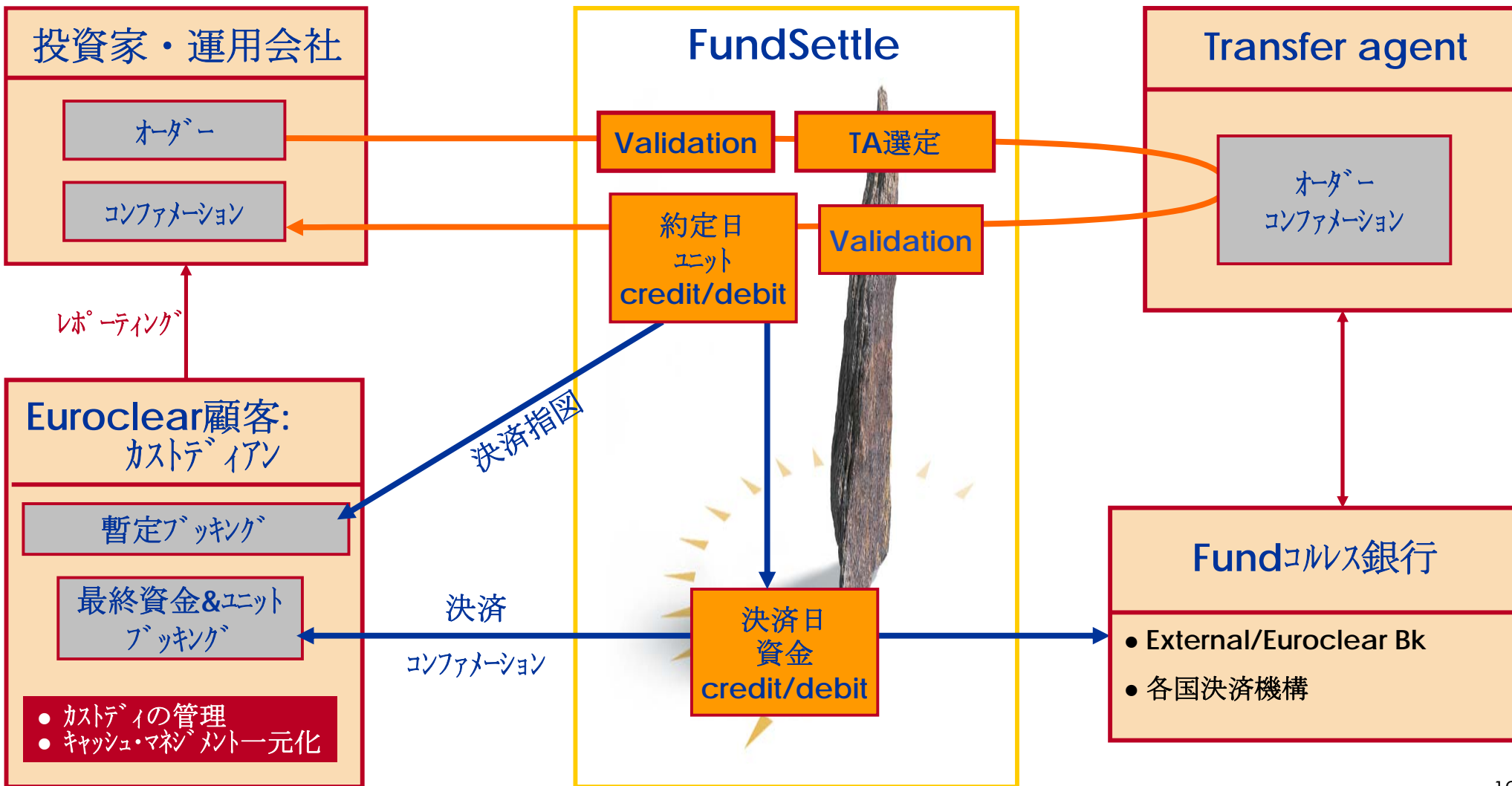


オーダー処理



オーダー処理

カストディアン・モデル



FundSettle

自動化の必要性・Euroclearの役割

FundSettleサービス内容

機能及び利点

ヘッジファンド

通信手段

ファンド・プロモーターとのパートナーシップ

ヘッジファンド・サービス

- 現行カバレッジ
 - ヘッジファンド取扱い残高：€13bn（1.4兆円弱）
 - 現行サービスは“simple”ヘッジファンドに限定
⇒マーケット環境が悪い状況においてもヘッジファンド需要は増大



- より複雑なヘッジファンドを対象とすべく、現行サービスを拡充
- リスク並びにマニュアル処理度合い等に応じ、ヘッジファンドを以下4カテゴリーに区分
 - C1： “simple”ヘッジファンド（購入資金前払い型・除く日次NAV）
 - C2： C1 + 書面ベースの申込
 - C3： C2 + シリーズ及びパフォーマンスフィー・アカウントینگ
 - C4： 対象外 – パートナシップ形態ファンド・Side Pockets付ファンド
- 取引種類に応じた異なる料金体系
- 段階的サービス提供：2009年Q1～

FundSettle

自動化の必要性・Euroclearの役割

FundSettleサービス内容

機能及び利点

ヘッジファンド

通信手段

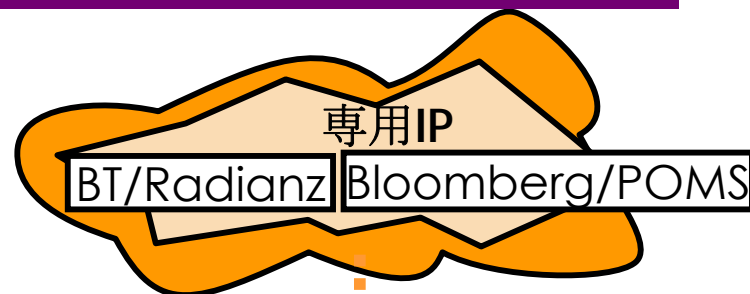
ファンド・プロモーターとのパートナーシップ

通信手段

取引量・ニーズに沿った複数選択肢



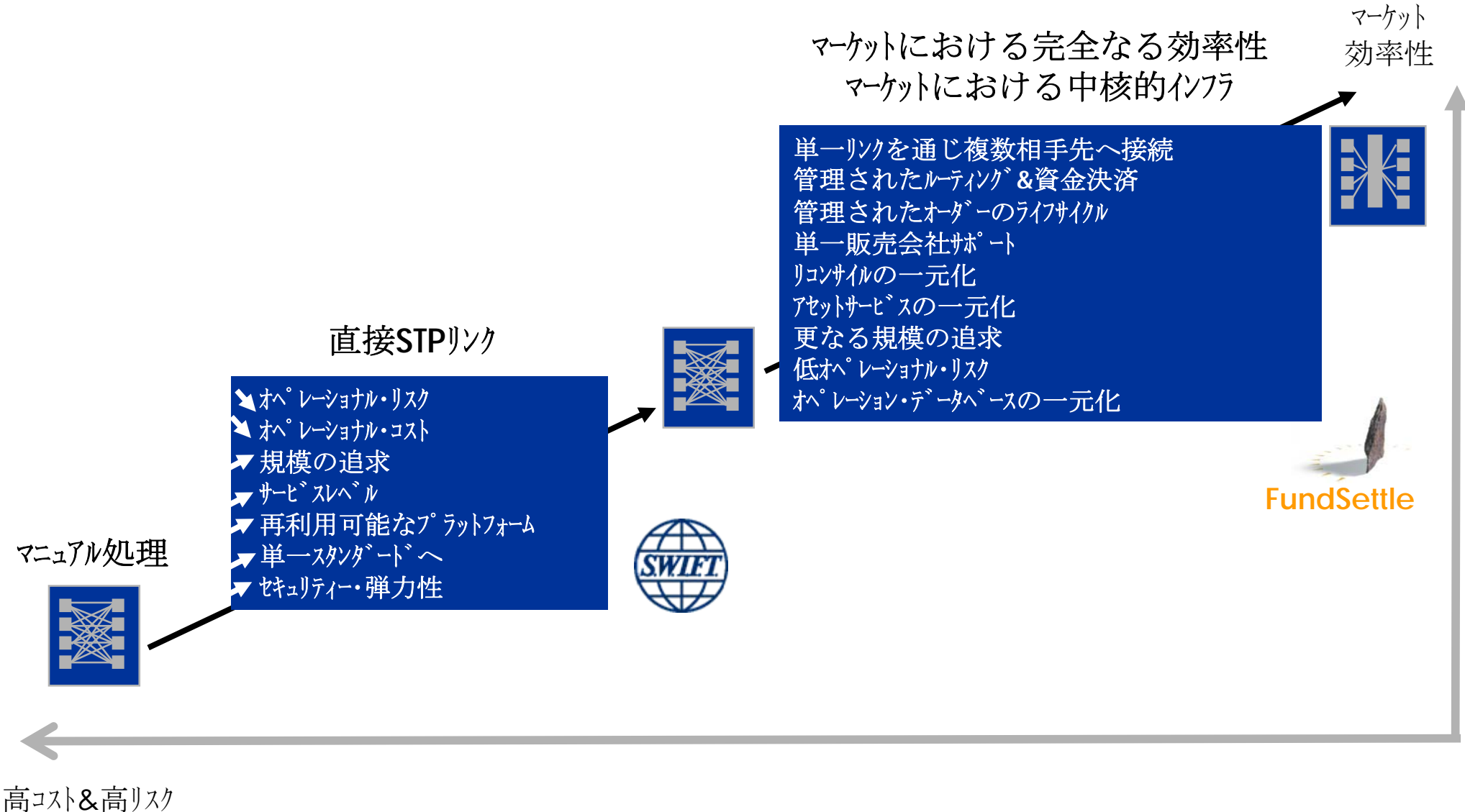
ファイアーウォール



ファイアーウォール



S.W.I.F.TとFundSettle



FundSettle

自動化の必要性・Euroclearの役割

FundSettleサービス内容

機能及び利点

ヘッジファンド

通信手段

ファンド・プロモーターとのパートナーシップ

FundSettle手数料 “Rebalancing”

- 業界全体における自動処理レベルは依然低水準
- コスト／リスク／業界の成長にとって、初々的な影響
- 解決策は存在するものの、自動化の促進者となる販売会社は動機付け必要



- BuyサイトからSellサイトへFundSettle手数料を“Rebalance”
- 目的：
 - マーケット全体コストの低減を企図し、規模の経済を最大限活かせるレベルに取扱いボリュームを拡大
 - 他アセットクラス（証券）にて実施してきたコスト低減施策をファンドにおいても実現可能に

FundSettle手数料 “Rebalancing”

手数料概要

- 販売会社・仲介機関等は取引手数料のみ負担（平均：€1～€2.5）
- オーダールーティング及びアセットサービスフィーはプロモーターが負担
 - － 対象ファンド：ファンド・プロモーターが同意済、且つSTP処理となるファンド
- 一部パートナーが参画済（段階的拡大を企図）

	Rebalancing銘柄 平均料率	標準STP銘柄 平均料率
取引手数料	€1.50/件	€6.50/件
アセットサービス手数料	手数料なし	0.7bp/年

FundSettle手数料 “Rebalancing”

対象ファンド

Rebalancing対象プロモーター（2008年9月1日～）

- BlackRock (and its Transfer Agent)
- Goldman Sachs
- INVESCO
- JPMorgan AM
- Pictet
- Pioneer
- Schroders
- SGAM
- ROBECO

... 順次拡大予定

Euroclear Bank 東京駐在員事務所

安楽 兼孝 ディレクター リレーションシップ・マネジメント

Tel: 03-3506-3713

E-mail: kanetaka.anraku@euroclear.com

